



読み聞かせボランティアが選んだ
一度は読みたい絵本



梅雨の時期になりました。シトシトと降る雨をみながら、家の中でのんびり過ごし、思いっきり体を動かせる夏を待ちましょう。そんなおうち時間のおともにぜひ絵本を読んでみてください。

◎【ミミズのふしぎ】

皆越ようせい 写真／文 ポプラ社

コンクリートとアスファルトの都市でも雨が降った後の朝には、道路にミミズが出てきている。どうしてこんな形の生き物かと思う。遥か12億年前から似た形でいたミミズ。ミミズは土を豊かにして命を育ててくれる。

《読み聞かせボランティアあいあい》



◎【おにぎり】 平山英三／文 平山和子／絵

福音館書店

まずは表紙のおにぎりの絵にくぎづけです。海苔のツヤまで本物そっくり。さあ、手に水つけて、塩つけて、ご飯は熱いから気をつけて。この絵本をみたらきっとおにぎりが作りたくなりますよ。そしてほおぼりたくなりますよ。

《読み聞かせボランティアおおきな木》



◎【ジオジオのかんむり】

岸田衿子作／絵 福音館書店

王様ライオン、ジオジオは年をとってひとりぼっちになってしまいました。けれども鳥がジオジオのかんむりに巣を作りました。鳥達の声聞いて、ジオジオはとてもうれしそうです。《読み聞かせボランティアだるまさんの会》



ぜんぶ、大師図書館に所蔵のある絵本です。ぜひご覧になってください。貸出中でしたらごめんなさいね。予約することもできますよ。大師図書館カウンターにお声をかけてください。